

北陸学院同窓会々報

発行責任者
小崎 淳子

第 58 号
2019年7月



入会式（2019.2.28）の後のお茶会にて

「友愛」



同窓会会長

小崎 淳子

(小崎)

(S 39年度卒)



今年は昨年と違いまして、雪が少なく、穏やかな年明けを迎えられたことと存じます。なかなか、温かくならず寒さがぶり返す日が多かったように思いますが、四月には土筆が顔を出したかと思うと、桜や桃、杏、蓮華、などいろいろなお花が一斉に咲き誇り、ゆっくり春を惜しむことが出来ました。

五月は初夏の風が吹き、川の空には鯉職が泳いでいました。六月は百万石祭りがあり、だんだん暑い夏がやってくるようです。

見ることができ、心で感ずることが出来る四季のある国に生まれてよかったですと実感しますね。みなさまにはお健やかにお過ごしでいらしゃいますか。

昨年のバザーは皆さまの温かいご協力を頂き、楽しく開催することができました。

心より感謝申し上げます。金曜日の開催ということで、本当に心配したのですが、学年を越えて皆さまの力を結集致しました結果が、本来のあるべき姿、「友愛」を強く感じることがで

きました。

昭和三十年度卒の皆さまの「私たちはお茶席を設けて、おもてなしをさせて頂きます」この心強いひと言で、じゃあ、私は販売するわ、私は食堂担当するわということで次々と名乗りを上げていただきました。心配していた品物もほとんど集まってきました。

前日、前々日の値付けや飾り付けにも沢山のお手伝いがありました。お子さんを連れて駆けつけて下さった方もいらっしゃいました。そのお子さんにも一緒に飾り付けの絵を描いたり、チラシを書いたりして頂きました。

私たちと違って、子供の感覚はすばらしいものでした。未知数の力を感ずりました。

バザー当日は穏やかな日でした。朝早くからお手伝いに駆けつけてくださった皆様には本当に頭が下がりました。ご高齢の世代、若い世代の方々が一緒になって一つのものを売る、声を掛け合う、このバザーを成し遂げる、皆さんに楽しんでもらう、私たちも楽しむ、この意気込みが、お抹茶席での談笑、物品販売の売れ行き、バックなどはお店を出せるほどの数でしたが、とてもうまく飾り付けをしていただき、ほとんど完売した状態、食堂部分でも久しぶりの再会に明るい声が飛び交っていました。

バザーを終えた後の皆様の中には「やり切った」という満足な笑顔が見えました。

本当に素晴らしい笑顔でした。

今年も又、バザーが近づいています。当番学年の方々と共に力を出し合って新たな親睦が深められたらとっても楽しいですね。

楽しみに待っていて下さい。

「完全に知る時」

学院長
楠本 史郎



「このように、はつきり知らぬうちに、
はつきり知るようになる」
「この下の信徒への手紙」
十三章十二節

生徒であったとき、分からないことがありました。厳しい先生が苦手でした。あのクラス・メイトとはウマが合わない、と感じました。毎日の礼拝が退屈でした。
卒業してからも、失敗や挫折がありました。次々心配ごとが沸き起こり、右に左に流されました。この人生に、一体どんな意味があるのだろうかと思ひます。
それは「鏡におぼろに映ったものを見ている」

(十二節)からです。昔の鏡は、金属を磨いただけです。姿を鮮明に映し出すことができず、ぼやけた。けれども聖書は、はつきり知る時が来ると語りまします。顔と顔を合わせて会い、全てが鮮明に見えてきます。今は、全部分からず、一部しか見えていなくても、いつか、すべてを知るようになります。そのときが来ます。
それは神があらわれるからです。神は、私たちのすべてを知って愛されます。この私のすべてを知り、受け入れ、分かっているにすぎません。
今は、全部は分かりません。だから戸惑い、悩みます。けれども神は私たちを愛されます。そのことを北陸学院で知りました。全部は知らなくても、いちばん大切なものを知りました。何があるかと、神は私たちを愛しておられます。

そしていつか、知ります。神はこんなにすばらしいものを用意しておられたのだと分かります。
この人生は、決して平凡でつまらないものではありません。神の恵みが溢れています。それが分かる時が来ます。喜び、感謝します。

同窓のみなさんが集まります。一気に女学校時代高校時代に戻ります。話が弾みます。そこに発見があります。先生がどんなに深く生徒を思っておられたか、苦手だと思っていたクラス・メイトが、じつは魅力ある人だと知ります。共に賛美歌を歌い、聖書のみ言葉を聞いて、礼拝の喜びが甦ります。同窓会には、恵みが満ちています。

「橋をかける働きの人」

中学校・高等学校校長
福岡 満喜子



西暦二〇一九年は、日本にとって一つの時代の終焉、新しい時代の幕開けとなりました。私は今、隔てに「橋をかける」という一つの視点からこの時を見つめています。

美智子皇后は、カトリックの信仰に生きた祖母を持つ正田家のご出身、雙葉学園雙葉小学校付属幼稚園から聖心女子中・高・大学とミッションスクールでキリスト教教育を受けた一人の民間の女性でした。その人格を携えて皇室で生活なされたことが、どのような影響をもたらしたのでしょうか。

途中、心労大きく声を失うほどに繊細な心を持つこの方なればこそ、旧来の皇室に新しい風を静かに吹込み、夫と妻、親と子、天皇と国民、国家と国家の間に新しい関係を生むかけ橋を渡されたように思いました。明仁天皇は八十五歳の誕生日に「自らも国民の一人であった皇后が、私の人生の旅に加わり、六十年という長い年月、皇室と国民の双方への献身を、真心を持って果たしてきたことを、心から労い



総会にて支援金贈呈

たく思う」と述べられました。
幼児期からミッションスクールの祈りによって育てられた一人の女性が、皇室に入り、その光を携えた心と力を傾けて陰に日向に尽くされたことで、つくり変え、広げられた世界がどのようなものだったのか。私も、感慨深い思いでこの時代を振り返っています。
美智子妃はある講演の中で、平和をつくることについて「人生の複雑さに耐えて、周囲との間に、一つ一つ橋をかけること」と語られました。ここに、献身的に隔ての壁を取り壊すミッションスクールの心、キリスト教精神が香りたっていると感じます。同窓会の皆様も、やはり、それぞれの生活の中で、その複雑さに耐えつつ橋をかけておられること。キリストの香りを携えるそのお働きに思いを馳せて、世界に広がる平和のかけ橋の建設の前進に感謝しています。

バイブルクラスのご案内

バイブルクラスは、学院長楠本先生に聖書をやさしく、わかり易くお話いただいております。年間九回開かれております。

在学時代に学んだ聖書や賛美歌に再び出会う機会です。聖書、賛美歌は同窓会館に用意してありますので、そのままお越し下さい。お話のあとの茶話会では学年をこえた楽しい交わりのひとときを過ごしております。

二〇一九年の予定をお知らせ致します。予定の中に覚えてください。

《2019年度 予定表》(お話) 学院長 楠本史郎先生
場所：同窓会館 (13:30~15:00) 茶話会費300円

	月日	備考
2019年	9月 9日(月)	
	11月11日(月)	
	12月 9日(月)	クリスマス礼拝
2020年	1月	休み
	2月17日(月)	
	3月16日(月)	
	4月20日(月)	
	5月11日(月)	
	6月15日(月)	
	7月 6日(月)	
8月	休み	

※クリスマス礼拝(別途会費)にご出席の方は準備の都合上、一週間前までにお知らせ下さい



2019年度学校案内より

「2018年度部・同好会会動支援金」は吹奏楽部の楽器購入にあてられました。



お茶席コーナーを任かされて

水口 まり子
(安藤)
(S30年度卒)

北陸学院高等学校同窓会バザーが平成三十年八月三十一日金曜日同窓会館において開催されました。

私達昭和三十年年度卒の同窓生八名で抹茶コーナーを担当させて頂きました。

二十三年前にもバザーのお手伝いをさせて頂きましたが、今回はかなりの高齢になっており、果たしてごまでのお手伝いが可能かしらと案じておりました。年齢的に、落着きではなく、のろまさんの私達には、丁度手頃なコーナーでした。ゆつくりお抹茶をたて、ご来場の皆様におもてなしをしました。

沢山の方がご利用下さり、まあまあの手ケットの売れゆきとなりました。

少しはバザー収益のお手助けが出来ましたでしょうか。

とに角、お手伝いしている私達自身が楽しんでおりました。

お客様はウィークデイという事も若い方より熟女の皆様方が多く、あちこちで話を花を咲かせていらっやいました。

語らひの場として、最高の催しだったように思いました。楽しい一時を本当にありがたうございました。感謝と共にお礼を申し上げます。

役員の皆様方のご苦勞に比べたら、私達は楽しただけの様な気持ちで申し訳なく思っております。

北陸学院同窓会の益々のご発展を、心よりご祈念申し上げます。



会場に溢れる笑顔



クリスマス礼拝に参加して

能 千代
(能)
(S41年度卒)

「学生時代」の歌詞そのもの中学、高校生時代でした。人生の目的を捜し求める年頃。聖書、讃美歌に出会いました。毎日の礼拝で生きるヒントを沢山与えて頂きました。私は讃美歌を歌いながら、音楽方面からの新曲の練習、ハーモニー、発声等、多くの学びをする事が出来ました。中学生時代、平和講堂でクワイヤールの練習が放課後あり、先輩方と共にハーモニーを苦心したなつかしい思い出がよみがえってきます。

同級生の勧めで参加したクリスマス礼拝、私も含めお婆ちゃんになった多くの方々の中に、かつて共にクワイヤールで合唱した先輩方にお会い出来ました。その喜びは言葉になりません。

又同級生たちとも会え、一瞬にして心は五十年前にもどりました。

院長先生のお説教、共に歌う讃美歌、とてもフレッシュでこんな一時を至福というのではないでしょうが。

学生時代に知れたかった人生の目的、年を取った今もまだ求め続けています。

故郷はいつでも自分を受け入れてもらえる処、北陸学院卒業生は同窓会館での集いが故郷と感じても良いのでは、と思います。そのような場所の持てる幸せを感じます。

この素晴らしい会がどんどん広がっていくことを願っております。



お抹茶をどうぞ!

入会式・常任幹事会に参加して

川畑 紀代美
(川畑)
(S41年度卒)

卒業式の前日、二月二十八日(木)式の練習後、同窓会入会式が同じグロリアチャペルで行われ、同窓会役員と常任幹事十七名が参加しました。私は、翌日の卒業式に喜びいっぱい生徒たちは、入会式をどのように受け止めているのかなと思いつつ前を見据えている真剣な眼差しが、とても印象的で頼もしく感じました。

小崎会長の挨拶、名誉会長の楠本史郎先生のお祝いの言葉に続いて同窓会の行事・活動紹

「同窓会 活動の1年を振り返って」

介、支部紹介がなされ、既に決まっている各クラス幹事の生徒に、一人ひとり同窓会手帳とクラス幹事心得が渡されました。このようなセレモニーが毎年行われています。お聞きするところによると、このように同窓会の入会式を行う学校は他にないようで、我が校がずっと続けていることは珍しい事です。学校は長い歴史を重ねる中で、どんな世の中が変わろうとも、変えなければならぬ事と変えてはならない事があると思っております。この入会式は他校がどうであれ、我が校の伝統として変わることなく大切に守り続けていかなければならない同窓会の役目のひとつです。入会式の後、同窓会館で常任幹事会を開き、役員と楠本史郎先生と親しく交わりの時を持ちました。今の学校や生徒の様子をお聞きしたり、自分たちが何十年も前に生徒だった頃の楽しい話題で盛り上がり、年代を越えて同窓生として繋がっている喜びを感じるひと時です。これこそ同窓会が伝統的に毎年、卒業をお祝いし入会を歓迎するセレモニーの意義があると思うのです。今年入会した若人たちが、これからも変わることなく同窓会を引き継いでくださることを期待します。



「学生時代」の歌詞そのもの中学、高校生時代でした。人生の目的を捜し求める年頃。聖書、讃美歌に出会いました。毎日の礼拝で生きるヒントを沢山与えて頂きました。私は讃美歌を歌いながら、音楽方面からの新曲の練習、ハーモニー、発声等、多くの学びをする事が出来ました。中学生時代、平和講堂でクワイヤールの練習が放課後あり、先輩方と共にハーモニーを苦心したなつかしい思い出がよみがえってきます。

同級生の勧めで参加したクリスマス礼拝、私も含めお婆ちゃんになった多くの方々の中に、かつて共にクワイヤールで合唱した先輩方にお会い出来ました。その喜びは言葉になりません。

又同級生たちとも会え、一瞬にして心は五十年前にもどりました。

院長先生のお説教、共に歌う讃美歌、とてもフレッシュでこんな一時を至福というのではないでしょうが。

学生時代に知れたかった人生の目的、年を取った今もまだ求め続けています。

故郷はいつでも自分を受け入れてもらえる処、北陸学院卒業生は同窓会館での集いが故郷と感じても良いのでは、と思います。そのような場所の持てる幸せを感じます。

この素晴らしい会がどんどん広がっていくことを願っております。



何十年ぶりに聖歌隊結成、なつかしい英語讃美歌も



礼拝にて



和気あいあいの茶話会風景



関東支部報告

田中 美智子 (北川)

(S 31年度卒)

丁度、一三〇年前の六月一日は関東支部が発足した記念の日なので、いつもと違い讚美礼拝を行い、先輩諸師達が深く関わっていた矯風会について、長年お仕事されていらっしやる川野安子先生に講演をお願いすることに致しました。

今年はお席メンバー増強手段として、過去、担任、専科の先生方にお声がけいいただきました。

支部だより

本部より会長小崎淳子様、総務越本陽子様、学院長楠本史郎先生、堀岡満喜子校長、元校長山内ミハル先生、長谷川榮先生、横川捷信先生、芳養朋子先生、児玉敏紀先生、西桂子先生、小栗友彦先生、山本秀樹先生、東京近郊の川野安子先生、加藤節子先生、紫垣紀代先生、永井美歌先生、西貝京子先生、同窓生は金沢から参加の人を含め、三十一名、総数四十六名と久しぶりに大人数になり、メール交換が功を奏した結果と大変嬉しく思っております。

懇親会は昼食をとりながら、自己紹介並びに近況報告、時間制限ありで、全員一言ずつ発言、笑い、拍手、感嘆のため息、時間が足りないと感じ乍ら校歌斉唱、「おこめごわれらー」 「男子生徒が入ったら、ここは違いま

二〇一八(平成三十)年度活動報告

期間 平成三十年九月七日

～令和元年八月三十一日

- 二〇一八(平成三十)年
9月10日 バイブルクラス
10月8日 同窓会第123回総会
11月12日 バイブルクラス
12月10日 バイブルクラス・クリスマス礼拝

二〇一九(平成三十一・令和元年)

- 2月 同窓会費・部活動支援金納付案内発送
2月18日 バイブルクラス
2月28日 新会員入会式
3月 常任幹事会
3月18日 バイブルクラス
3月 中学校卒業生へ記念品贈呈
4月15日 バイブルクラス
5月13日 バイブルクラス
6月5日 常任幹事会
6月20日 バイブルクラス
7月1日 バイブルクラス
7月6日 クラス幹事会
7月 会報発送58号
8月31日 同窓会バザー
その他 役員会随時開催



すよ！」に又大笑いで無事、お開きになりました。先生と個々のお別れのご挨拶の時、思いがけず「いい会でした。どうもありがとう」と言われ、涙腺がゆるみました。本当に和やかで楽しい思い出に残る一日になりました。

関西支部報告

奥 久仁子 (沢田)

(S 42年度卒)

今年も十月第三木曜日十八日十二時からJR大阪駅ホテルグランヴィア十九階レストラン「フルーヴ」にて、堀岡校長様、本部から若林様、玄田様をお迎えし二十三名で開催致しました。

ここに一年振り集えることに感謝の祈りをし、美味しいお食事を楽しみました。間には二回目参加の藤村順子様が、北陸学院から留学なさったアメリカで出会った方と後に結婚され北陸学院に入学していなかったら今の生活はなかったという貴重なお話をして頂き皆感動致しました。又、郷土の歌人室生犀星の「ふるさは遠きにありて思ふもの」をプリント配布し、朝晩一分の音読は心と体の健康に繋がるとご紹介しました。又「夢を忘れた時に老いが始まる」と皆様にはいつ迄も若々しくお元気で同窓会に来て頂きたいと思っています。この会に参加して頂いた記念にと、小さな天使のマグネットを用意しお

二〇一八年度役員及び支部役員

名誉会長

北陸学院学院長 楠本 史郎先生

顧問

北陸学院中学校、高等学校校長 堀岡 満喜子先生

同

網村 淑子 (安井) S 30年度卒

会長

小崎 淳子 (小崎) S 39年度卒

副会長

若林 恵子 (安田) S 37年度卒

同

須加 二葉子 (長田) S 39年度卒

総務

越本 陽子 (越本) S 44年度卒

書記

北村 まや (松永) S 60年度卒

同

瀬澤 由香 (瀬澤) H 5年度卒

同

汐井 理美 (瀧木) S 48年度卒

同

北川 章子 (山崎) S 48年度卒

同

玄田 博子 (山崎) S 48年度卒

同

黒瀬 千鶴 (雷久尾) S 39年度卒

同

九良賀野 佳代子 (泉) S 49年度卒

同

安田 利子 (安田) S 31年度卒

同

井田 茂美 (井田) S 43年度卒

同

田中 美智子 (北川) S 31年度卒

同

久保田 ゆずり (井上) S 59年度卒

同

中 礼子 (安岡) S 59年度卒

同

片山 証 (都田) S 36年度卒

同

伊澤 しのぶ (朝倉) S 38年度卒

同

倉島 尚美 (吉野) S 40年度卒

渡し致しました。次の同窓会の通知の葉書を冷蔵庫に留めて忘れずにご参加頂きたいと思っています。

次は若い方が何か企画のアイディアがある様で、皆様楽しみに葉書をお待ち下さい。この回に参加したら年を越え知り合い、毎年一回お目にかかるのが楽しみになっています。どうぞお声かけ合い、お誘い合わせご参加をお待ちしています。

東海支部の現況

八木 寿満子 (西村)

(S 37年度卒)

「平成ジャンプ」、当初、何を意味しているのか皆目見当がつかず、聞き流してありましたが、次第にその言おうとしている事にズキンと胸に刺さる事に気づいて深く反省をしております。

平成の初め、大先輩の同窓生のメンバーより単身で支部を預かり、一緒に活動出来る方を求めておりましたが、全く及ばずにノックの音が小さかったのか…。

しかし、現本部の小崎会長、役員の方々の熱い想いを受け止め、試行錯誤を続けてまいりましたが、まだ立ち上がりません。せめて総会に参加し、東海支部に関わりのある出席者の方に直接お目に掛かって、東海支部の存続を願いつつ、御一緒に活動をしていただいと願っている次第です。

事務局便り

同窓会館は毎週 月・水・金曜日の午後一時から四時まで開いています。住所変更・改姓などの連絡事項がありましたらお知らせ下さい。

同窓会費

一年分 1,000円です。

部・同好会活動支援金

10,000円です。

《ゆうちょ銀行》

007101116855

北陸学院同窓会 随時受け付けております。

【北陸学院同窓会館】

〒920-8563 金沢市飛梅町1-10
TEL 076-261-1868
FAX 076-261-2268
《Eメールアドレス》
hsdoso@hokurikugakuin.ac.jp
《ゆうちょ銀行》
00710-1-6855
北陸学院同窓会

編集後記

同窓会の1年間を振り返ってみますと、たくさんの方が同窓会館を訪れ、いろいろな出来事を歴史に刻んできたことに気付かされ、感謝です。

(九良賀野)

北陸学院同窓会第124回総会

【日 時】 2019年10月14日（月・祝） 午前10時30分～（受付 10：00）

【場 所】 ANAホリデイ・イン金沢スカイ（旧スカイホテル）
金沢市武蔵町15-1 TEL 076-233-2233

【プログラム】 ☆礼拝・総会 10F 白山の間

《礼拝》 午前10：30

《総会》 午前11：00～11：40

☆懇 親 会 18F トップ・オブ金沢 午後12：00～14：00

【総会参加費】 6,000円（平成27・28・29・30年度卒の方は参加費が半額になります。）

同封の振込用紙にてお振込み下さい。

ゆうちょ銀行 00710-1-6855 北陸学院同窓会

【締 切】 2019年9月10日（火） 厳守

※10月9日以降の変更につきましては応じかねます。

※準備の都合上、ご出席の方のみお葉書でお申し込みのうえ、同封の振込用紙で総会参加費をご入金くださいますようお願いいたします。

同窓会事務局（076-261-1868 月・水・金 1:00～4:00）へご連絡ください。

《Eメールアドレス》 hsdoso@hokurikugakuin.ac.jp

同窓会バザー

2019年8月31日（土）開催

時間 11時～15時

場所 北陸学院同窓会館

食券セット（お寿司、おしるこ、飲み物）1,000円
で同窓会館にて販売しております

皆様のご来場を心より
お待ちしております

～バザー品提供のお願い～

ご自宅で眠っている品物はありませんか？
ご協力のほどよろしくお祈いします
（但し、古着・消費期限の短い食料品はご遠慮下さい）



■金沢市内に限りご連絡いただければ取りに伺いますのでお気軽にお問合せ下さい

送付先 〒920-8563 金沢市飛梅町1-10
北陸学院同窓会館 TEL 076-261-1868